

■ 公的資金の返済に向け、安定的な収益力の確保に努めてまいります。

当社は、「金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律」に基づき、公的資金として優先株式を合計1,200億3千万円発行いたしました。その後着実に健全性を高め平成19年8月に350億円、平成20年6月に250億32百万円の返済を実施し、公的資金は残り約600億円となっております。公的資金の完済に向け、「経営の健全化のための計画」（以下、「経営健全化計画」）を策定

しており、平成20年11月には、収益目標等を見直した平成24年3月期までの計画を公表しております。

本計画においては、広域地域金融グループとして他に類を見ない特徴を活かし、営業力の強化、経営の効率化、経営基盤の安定化のための施策を織り込んでおります。引き続き計画の履行を着実にを行い、早期の完済を目指してまいります。

■ 公的資金優先株式の概要

種類	第1回第1種優先株式	第1回第4種優先株式
発行株数	50百万株	61.4百万株
発行残存額	250億円	349億98百万円
優先配当金（年間）	7円70銭	6円62銭
取得価額	314円40銭（平成20年7月31日～） 取得請求期間中、毎年7月31日の時価（注）で修正	313円90銭（平成20年8月1日～） 取得請求期間中、毎年8月1日の時価（注）で修正
取得請求期間	平成15年9月26日～平成22年7月29日	平成16年9月1日～平成22年7月31日
一斉取得日	平成22年7月30日	平成22年8月1日

（注）時価とは、当該日に先立つ45取引日目に始まる30取引日の東京証券取引所における普通株式終値の平均値

■ 経営戦略

1. 営業力の強化

北海道・北陸三県を主要営業基盤としつつ、三大都市を含めた幅広いネットワークを結合させることにより、他の地域金融機関との差別化を図り、営業力を向上させる。

- 広域ネットワークを活用したビジネスマッチングの取組強化
- 両行道内インフラ活用による企業周辺取引（取引先、従業員等）の取り込み
- 両行ノウハウ共有による提案力・ソリューション機能の強化

2. 経営の効率化

両行のお客さまとの良好なお取引関係を維持・発展させていくことに重点を置きながら、北海道地区で重複するインフラを結合・再編するなどにより、経営資源をより有効に活用し、効率的で収益性の高い営業体制を構築する。

- グループとして効率的かつ効果的な店舗ネットワークを再構築
- 道内メールカーやバックオフィス業務を共同化

3. 経営基盤の安定化

経済環境の異なる地域にまたがる営業基盤を包含することにより、より安定性のある資産ポートフォリオを構築し、市場から高い信認を受け、お客さまから支持される地域金融グループを目指す。

- 広域営業を活かし、地域的・業種的に分散された資産ポートフォリオを構築
- 持株会社により、子銀行・子会社収益の変動を吸収し、安定的な資本政策・配当政策を実施

経営健全化計画においては、収益性、効率性、健全性の一層の向上を目指して業務の再構築に取り組むこととしており、平成24年3月期までの各年度の計数計画ならびにその達成に向けた施策を掲げております。

今後とも、効率的な経営のもとに安定的な収益を確保し、公的資金の早期返済に向けて内部留保の蓄積を図っていくとともに、

公的資金返済後を見据え、一層のサービス向上・営業力強化のための積極的な施策を展開し、お客さまと市場からの信頼を確実なものとしてまいります。

■ 経営健全化計画の収益等の目標

● 地銀トップクラスの収益力を継続

〔平成24年3月期計画〕

業務純益877億円、当期純利益373億円

● 営業力強化、利便性・安全性向上等に向けた

投資を行いつつ、効率性を維持

〔平成24年3月期計画〕OHR52.03%

● 公的資金の早期返済を目指し、十分な剰余金を積み上げ

〔平成22年3月末計画〕剰余金1,756億円

● 安定した財務基盤を確立

〔公的資金返済後の目途〕連結自己資本比率9%

連結Tier1比率6%

【収益】（北陸銀行+北海道銀行）

（単位：億円）

	20/3月期 実績	20/9月期 実績	21/3月期 計画	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
業務粗利益	1,818	857	1,730	1,778	1,803	1,829
経費 (OHR) (※1)	899 (49.45%)	456 (53.18%)	930 (53.76%)	950 (53.45%)	956 (53.02%)	952 (52.03%)
業務純益	937	398	799	827	847	877
コア業務純益 (※2)	886	417	815	827	847	877
不良債権処理損失額 (※3)	255	161	280	220	220	220
経常利益	650	194	440	587	601	634
当期純利益	390	378	490	347	353	373

【剰余金残高】（ほくほくFG+北陸銀行+北海道銀行）

	20/3月期 実績	20/9月期 実績	21/3月期 計画	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
剰余金残高 (※4)	1,339	1,407	1,493	1,756	2,027	2,309

【自己資本比率】（ほくほくFG連結）

	20/3月期 実績	20/9月期 実績	21/3月期 計画	22/3月期 計画	23/3月期 計画	24/3月期 計画
自己資本比率	10.39%	10.39%	10.47%	10.74%	10.92%	11.05%
Tier1比率	7.48%	7.36%	7.45%	7.85%	8.27%	8.70%

※1 経費÷業務粗利益

※2 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入 - 国債等債券関係損益

※3 一般貸倒引当金繰入を含む

※4 利益剰余金のうち利益準備金以外（20年9月期の実績については、子銀行における剰余金残高は自己株式控除後）